

●日本移民学会第 28 回年次大会プログラム（暫定版）

大会開催日時: 2018年6月23日（土）、24日（日）

【会場】 南山大学（名古屋市昭和区山里町18） 共催：南山大学ラテンアメリカ研究センター

23日（土）会場： R 棟 フラッテンホール 24日（日）会場： Q 棟 5階

* 1日目と2日目とは、会場が異なります。

【問い合わせ先】

【大会企画委員会】 (E-mail) iminkikaku@gmail.com

【大会校担当者】 浅香幸枝 (E-mail) annualconf.jams@gmail.com

大会シンポジウムテーマ： 「スポーツ×移民×映像～移民研究はどんなプレイができるか」

東京五輪が差し迫る中、今年の年次大会はサッカー・ワールドカップ開催の真っ只中に、ブラジルからの入移民が最も多く住む愛知県で開催されることを加味し、シンポジウムのテーマは「スポーツ×移民×映像 ～ 移民研究にどんなプレイができるか」とする。議論の起爆剤として映像を無料上映して地域住民に参加を呼びかけ、「研究者×一般市民×移民」の対話を促す。まず、群馬県大泉町を舞台にした、サッカーを通じて日本人と在住外国人が切磋琢磨する物語の「多文化共生まれ映画」、『サンゴーヨン★サッカー』をポルトガル語字幕付きで上映する。次に、日系ブラジル人ジャーナリストが、日本で格闘家を目指す移民を追ってユーチューブで配信しているドキュメンタリーシリーズを、日本語字幕付きで上映する。両作品のプロデューサーや出演者の報告に続き、研究者による「スポーツ×移民×ナショナリズム×エスニシティ」の報告、そしてフロアを含めたクロストークにつなげる。

ところで今年の年次大会は、ハワイ「元年者」150周年祭、そしてブラジル移住110周年祭の興奮と余韻が残る中で開催である。日本移民学会編の著書も出版された。ラウンドテーブルや出版記念企画シンポジウム、そして大会校の企画シンポジウムでも、2018年ならではの、そして名古屋だからこそ生まれた多彩なプログラムをご堪能いただきたい。

大会企画委員長 アンジェロ イシ

■ **大会第1日目：6月23日（土）**

10:00 ～ 11:00 **四役会議**

11:00 ～ 12:00 **第2回理事会**

12:00 **受付開始**

12:30 ～ 14:15 **大会シンポジウム～映画上映の部**

司会：アンジェロ・イシ（武蔵大学）

上映・舞台挨拶：『サンゴーヨン★サッカー』、『イッポン～完璧な技』

14:30 ～ 17:20 **大会シンポジウム～パネルディスカッションの部**

タイトル：「スポーツ×移民×映像～移民研究はどんなプレイができるか」

司会：白水繁彦（駒澤大学）

報告：宮地克徳（『サンゴーヨン★サッカー』プロデューサー）・平野パウロ（主演）、

エヴァートン・トバセ（『イッポン～完璧な技』監督、ジャーナリスト）、金明美（静

岡大学）、尾崎正峰（一橋大学）

コメント：アンジェロ・イシ（武蔵大学）

17:35 ～ 18:20 **総会**

18:40 ～ 20:40 **懇親会**

■ **大会第 2 日目：6 月 24 日 (日)**

9:00 ～ 9:30 **第 3 回理事会**

9:00 **受付開始**

9:30 ～ 12:05 **自由論題報告 5 会場** (詳細は別掲)

12:30 ～ 14:30 **出版記念企画・ラウンドテーブル 4 会場** (詳細は別掲)

14:40 ～ 16:10 **大会校企画シンポジウム 会場：Q101 教室(Q 棟 1 階)**

ハワイ日系移民 150 周年記念 基調講演

司会：高木 (北山) 眞理子 (愛知学院大学)

講演：田中克之 (公益財団法人 海外日系人協会理事長)

大会校シンポジウム「研究・教育・地域との連携」

コーディネーター：浅香幸枝 (南山大学)

講演：山本浩之 (名古屋大学)

報告：浅香幸枝と学生 (南山大学)

コメンテーター：森茂岳雄(中央大学)

16:20 ～ 17:00 **第 4 回理事会**

◆自由論題報告

A会場 (Q501 教室)		司会：徳永悠、増田直子
大野 聖良 (日本学術振興会)	招聘業界における在留資格「興行」の問題構成 ——招聘業界誌『入国ジャーナル』をてがかりに	
ジョハンナ・ズリエタ (創価大学)	東南アジアにおける沖縄の「トランスナショナル・サラリーマン」-タ イの事例をめぐって-	
玄武岩 (北海道大学)	森崎和江の越境する連帯の思想-植民者二世の〈原罪を葬る旅〉	

B会場 (Q502 教室)		司会：安藤幸、今野裕子
安納 真理子 (東京工業大学)	Keeping Traditions Alive: Japanese Performing Arts and Music in Postwar Chicago	
尾上 貴行 (天理大学)	日系人の文化活動とニューヨーク社会 ~ニューヨーク天理文化協会を事例として	
佃 陽子 (成城大学)	日本の大衆メディアにおける日系人の表象	
平川 亨 (明治大学・院)	日本人墓地からみた移民コミュニティの形成 -ハワイ島コナ地域の日本人墓地の悉皆調査から-	

C会場 (Q503 教室)		司会：板津木綿子、長谷川寿美
中澤 英利子 (横浜市立大学・院)	ブラジルに帰国した子どもたちと日系コミュニティ -連続する移動のなかで-	
名村 優子 (立教大学・院)	戦前ブラジルにおける日本人集住地の信仰実態 -アリアンサ移住地諏訪神社建設事件の検討を通じて-	
根川 幸男	還ってきた少年-M氏の復航移民船体験と「還移民」研究の展望	

(国際日本文化研究センター)	
グスターボ・メイレス (神田外語大学)	日本本土と沖縄県におけるブラジル人コミュニティの形成過程

D会場 (Q504 教室)

司会：佐原彩子、永田貴聖

中山 大将 (京都大学)	戦後サハリンにおける旧樺太住民慰霊碑等の建立史研究： 樺太移民社会をめぐる複数の〈記憶〉と〈戦後〉
ル・ルー ブレندان (帝京大学)	ニッケルと砂糖、金とコーヒー -日本人出稼ぎ移民とフランスの植民地-
宮崎 早季 (一橋大学・院)	ハワイ日系人の戦時体験の記憶化を巡る社会運動
吉見 かおる (名古屋外国語大学)	日米民主委員会 (JACD) が戦中戦後の日米社会に訴えたこと -ニューヨークに存在した日系人進歩団体による反戦、民主化運動の意義とその変遷-

E会場 (Q603 教室)

司会：酒井清、丸山悦子

安納 恵子 (DePaul University)	シーブルック農場訪問報告 - アメリカ大陸 3,000 マイルの横断の旅の果て - 西の強制収容所から東の労働キャンプへ
高橋 萌 (慶応義塾大学・院)	台湾における新移民問題と多文化主義政策の展開
山崎 孝多朗 (京都外国語大学・院)	スペインが抱える移民同化の課題に関する一考察

出版記念企画・ラウンドテーブル

出版記念企画 (Q501 教室)

「日本移民学会編『日本人と海外移住—移民の歴史・現状・展望』の書評会」

森茂 岳雄 (中央大学)

本書出版の経緯

東 聖子 (近畿大学)

執筆者からの報告①

浅香 幸枝 (南山大学)

執筆者からの報告②

河原 典史 (立命館大学)

評者からのコメント①

細川 周平 (国際日本文化研究センター)

評者からのコメント②

日比 嘉高 (名古屋大学)

ラウンドテーブルA (Q502 教室)

「国立国会図書館の活用—憲政資料室の日系移民関係資料について」

モデレーター：和泉 真澄 (同志社大学)

「日系移民関係資料の概要等の紹介」

高山善裕 (国立国会図書館)

「国立国会図書館における日系移民資料調査—早稲田大学人間科学学術院「移住論」ゼミでの活用事例を中心に」

森本 豊富 (早稲田大学)

ラウンドテーブルB (Q503 教室)

「ハワイ元年者 150 周年を考える」

モデレーター：高木 (北山) 眞理子 (愛知学院大学)

ハワイにおける移民周年祭と元年者移民

白水 繁彦 (駒澤大学)

元年者移民とハワイ到達までの航海

根川 幸男 (国際日本文化研究センター)

元年者を迎えたハワイ王国

目黒 志帆美 (石巻専修大学)

ハワイにおける元年者の足跡と彼らの子孫

高木（北山）眞理子（愛知学院大学）

ラウンドテーブルC（Q504 教室）

「増え続ける『介護移民』—日本の『ニューエストカマー』の課題とその行方」

モデレーター：大野 俊（清泉女子大学）

EPA 介護福祉士の職場定着要因の分析—フィリピン人介護労働者の追跡調査から

高畑 幸（静岡県立大学）

コスト面から見た外国人介護労働者受入れの課題

坪田 邦夫（日本農業研究所）

EPA 候補者から介護福祉士資格取得、そして施設幹部へ—「介護移民」の労働市場参入で変わる各地の介護現場

大野 俊（清泉女子大学）

ラウンドテーブルD（Q603 教室）

「ドキュメンタリー *And Then They Came For Us* 上映会&ディスカッション」

モデレーター：柳澤 幾美（名古屋外国語大学）

上映

情報提供「フィルムの音楽について」

神田 稔（Asian Improv aRts 日本通信員 [ボランティア]）

コメント「今なぜ収容の問題なのか」

小林 純子（名古屋外国語大学）
